

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 08010020

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	8	子育て・子育ての充実	事業優先度	B		
単位施策	2	「子育て」支援の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	入所児童通所事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	8 保育所		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	運行便数			#N/A		
事業目標	2便		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	
計 画 内 容	運転業務委託 運行車両燃料代 運行車両車検代	沢木、幌内地域からの入所児通所 車両燃料代(2台) 車両車検代	沢木地域からの入所児通所 車両燃料代(1台) 車両車検代	沢木からの入所児通所 車両燃料代(1台) 車両車検代	沢木、幌内地域からの入所児通所 車両燃料代(2台) 車両車検代 車両タイヤ(2台)	沢木、幌内地域からの入所児通所 車両燃料代(2台) 車両車検代	
	事業費(千円)	18,496	4,230	2,433	2,623	4,780	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
地方債	0						
その他	0						
一般財源	18,496	4,230	2,433	2,623	4,780	4,430	
実績事業費	事業費(千円)	13,340	4,160	2,230	2,426	4,524	
財源内訳							
国庫支出金	0						
道支出金	0						
地方債	0						
その他	0						
一般財源	13,340	4,160	2,230	2,426	4,524	0	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		児童送迎バスの運行 1便	児童送迎バスの運行 1便	児童送迎バスの運行 2便		
			※事務事業評価結果 A-継続/内容の見直し・変更	※事務事業評価結果 A-継続/内容の見直し・変更	※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	2便	1便	1便	2便	2便
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率		98%	92%	92%	95%
	全体達成率		22%	35%	48%	72%	
	備考欄						

事業名	入所児童通所事業	評価者 管理職 職氏名	保育所長	大水 麻理
		評価者 作成者 職氏名	児童保育係	藤澤 健人

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	幌内、沢木及び魚田地区からの保育所入所児童(満3歳以上)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	送迎の便数
【抱える課題やニーズは】	遠距離通所手段の確保	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	遠距離通所に係る安全な送迎	① 送迎の便数	目標年度 平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	遠距離通所に係る保護者の負担軽減		目標値 2便
			実績値 2便
			達成度 100.0%
		②	目標年度 平成28年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	遠距離通所児童の送迎	幌内、沢木及び魚田地区の保育所廃止に伴い当該地区の児童が統合後の現保育所へ通所するための送迎を実施	
	送迎に係る運転業務の民間委託	送迎に係る車両の運転業務を専門知識、技能を有する民間業者に委託をしている。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	当該地区保育所廃止時の地域住民との確約事項であり、利用希望者が存在する限り必要な事業である。(事業の終了年限を明示していないため)
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	遠距離地域の保護者にとって毎日の送迎は時間的、経費的に負担が大きく送迎実施は保育所への入所を可能にさせる要因になっている。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	車両運転の専門的知識、技能を有する業者に民間委託することにより人件費等コスト、リスクが抑えられ安全かつ確実な運行がなされている。保護者、保育所、委託業者との連絡体制も順調に行なわれており効率的に実施されている。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	当該地域の保育所を閉鎖したことにより発生した不利条件を緩和するための施策で、利用者負担なく無償により実施しており概ね公平性を保っている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
3年ぶりに幌内方向の運行を再開し2方向の運行となった。閉所した保育所地域に住む入所者にとって負担軽減になるため目的はほぼ達成しており、保護者との連絡体制も円滑に実施され効率的かつ安全に運行できた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
現在利用している児童の年齢からするとこれからも利用が継続すると想定される。今後の利用数を見極めながらニーズに応じた対応が必要。また、乗車中の児童の安全確保についても検討を要する状況となっている。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止